

研究課題名	対象となる方	研究目的	研究期間	研究に用いる情報	実施責任者
褥瘡対策委員の介入方法の変更と褥瘡経過について	2019年度と2020年度に当院で報告された褥瘡発生報告書のデータがある患者。	当院での2019年度と2020年度の褥瘡発生報告より、影響を与えたと考えられる患者側、看護師側、栄養管理等の外的要因等を考慮した上で、単剤と多剤使用時の処置に応じた褥瘡の状態の変化を比較、検討し新たな処置方法の効果を明らかにする。	倫理委員会承認後 ～2021年3月31日	①基本情報(個人特定不可) ②医学的情報(診断名、既往歴、血液データ、治療方針) ③褥瘡評価表	鈴木 結佑加
がん診療均てん化のための臨床情報データベース構築と活用に関する研究	院内がん登録2019年症例(2019年1月1日～2019年12月31日)	院内がん登録とDPCデータの一元管理を試み、がん医療の実態を把握するデータベースを構築と活用法の検討を行う。(採録負担の少ない方法による診療実態の把握、標準診療実施率の算定、構築したデータベースを利用し、がん対策、がん診療向上のための有用解析など)	2020年7月29日～ 2022年3月31日	① 2019年院内がん登録全国集計への提出したデータ ② DPC調査で提出している形の2018年10月～2021年3月分の外来・入院のEF統合ファイル、および様式1ファイル	田尾 友哉
岡山市における血液培養データベースの構築	2010年1月1日から2025年3月31日の間に血液培養を提出された患者	岡山市における血液培養陽性患者のデータベース(臨床背景・感染巣・治療内容・生命予後など)を構築することで、菌血症患者のリスク評価や治療マネジメントの向上に寄与すること(岡山大学病院との共同研究)	倫理委員会承認日 ～2025年9月30日	1)患者基本情報:年齢・性別・入院/外来・診療科・病棟・感染巣・既往歴・投薬内容・主訴など 2)血液検査:CRP、プロカルシトニンなどの炎症データ 3)微生物検査:薬剤感受性試験など 4)治療状況:投与された抗菌薬名・投与期間、処置の内容など 5)予後情報:生存期間、死亡率、入院期間など	岸田 雅之
人工関節手術支援ロボットROSAによる人工膝関節手術の評価	2021年8月1日から2023年7月31日の間に人工関節手術支援ロボットROSAを使用した人工膝関節置換術を受けた患者。	人工関節手術支援ロボットROSAを使用しておこなう人工膝関節置換術の手術成績を明らかにすること。	倫理委員会承認日 ～2026年3月31日	1)基本情報 2)X線写真 3)標準的なスコア評価 4)患者立脚評価	藤原 一夫
大腿骨旋術中計測法の研究	2021年6月～2025年5月までに、当院で大腿骨骨折手術を受けた方	大腿骨回旋(前捻)角度の術中計測法を確立し、術後回旋変形を予防する。	倫理委員会承認後 ～2025年5月31日	年齢・性別・CT画像データ 術中角度計測値	木浪 陽
下腿骨回旋術中計測法の研究	2021年1月～2024年12月までに、当院で下腿骨幹部骨折手術を受けた方	下腿骨回旋(外旋)角度の術中計測法を確立し、術後回旋変形を予防する	倫理委員会承認後 ～2024年12月31日	年齢・性別・CT画像データ 術中角度計測値	木浪 陽
DPCデータを用いた心疾患における医療の質に関する事業	当院で循環器疾患治療を外来および入院で行なわれた方	医療の質についての全国調査を行うことにより、医療の標準化をはかる。	2020年4月～2021年3月のデータ	当院のDPCデータ	河合 勇介
肝線維化予測のための新スコアFIB3 indexの提案	肝生検を実施し、病理学的診断により線維化ステージの決定している非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)の患者さん	肝線維化予測スコアであるFIB4 indexの因子のうち年齢を除く3因子を用い、新たな線維化予測スコアを構築することを本研究の目的とした	2021年12月24日～ 2026年12月23日	肝生検で得られた肝線維化ステージと、血液検査から得られたAST・ALT・血小板値により新たな肝線維化予測スコアを作成	狩山 和也